

- ★ 平成30年、新造船が活躍します。……………1
- ★ 平成30年度上半期の主な事業……………2・3
- ★ トピックス・イベント散歩……………3
- ★ 平成30年度の役員及び評議員・平成29年度決算の概要…4

発行：一般財団法人
横須賀西部水産振興事業団
〒240-0101 横須賀市長坂2-2-2
☎ 046-857-6596

新造船が活躍します。 平成30年、漁業の活性化に向け3隻が就航しました。

3月25日
(日)

第5代湘南丸



朝10時三崎港花暮岸壁で神奈川県立海洋科学高校大型実習船「第5代湘南丸」の一般公開に参加しました。マグロはえ縄漁船で全長65メートル、696トン。55人の生徒が3か月の遠洋航海実習を行います。19年ぶりの新造、若い力によって漁業の活力が大きく育つ、そんな気持ちになりました。

3月26日
(月)

漁業取締船 たちばな

午後2時、三崎本港ゲストバースで神奈川県が建造した「漁業取締船 たちばな」のテープカットが行われました。全長22.5メートル、33トン、最高速度35.79ノット（時速約66キロメートル）、ルールを守り安全に操業する漁船を守り、ルールを無視する漁船を取締ります。



6月20日
(水)

第一山茂丸

佐島漁港でしらす漁を営む山茂丸水産の新造船「第一山茂丸」（全長19メートル）の完成を祝う進水式が行われました。この日約20枚の色鮮やかな大漁旗が飾られ、多くの関係者や地元の方が集まり門出を祝福しました。



平成30年度 上半期の 主な事業

平成30年度、当事業団は地域活動の支援、水産振興を事業の柱として、海岸清掃や種苗放流、研修会開催などの事業を行ってきました。本年度前半の主な事業活動を紹介します。

海と魚の講演会を開催

6月29日(金)「水産技術センターの仕事あれこれ」と題して、神奈川県水産技術センター主任研究員の加藤健太氏を講師に迎え、海と魚の講演会を西コミュニティセンターにて開催しました。神奈川県海洋環境、定置網漁業など漁法の紹介、また水産技術センターが取り組む調査研究など海や魚の基礎の話が聴けました。



講師：加藤健太氏



海と魚の講演会 水産技術センターの仕事あれこれ



小学生も参加、種苗放流を実施しました。

7月9日(月) ヒラメの稚魚8,000尾を小田和湾に放流しました。



ヒラメ

7月17日(火) トラフグの稚魚を小田和湾に10,000尾を放流しました。その一部を荻野小4年生25名によって斉田浜近くの岸壁から放流しました。生きた魚を見るのは初めての生徒もいて大きな歓声があがりました。



トラフグ

7月31日(火) (公財)神奈川県栽培漁業協会のチャーター船により、マダイの稚魚8,000尾を小田和湾に放流しました。



6月3日(日)

海岸清掃行事に参加しました。

7月27日(金)

荒崎海岸クリーンフェスタ2018 初夏

が開催されました。朝8時半から受付が始まり、約150人の家族連れが参加し海岸清掃とヒラメの稚魚放流が行われました。当事業団は清掃用品や飲み物を協賛しました。



朝9時から恒例の富浦公園前海浜清掃が行われました。長井中学校有志59名が中心となって、横須賀市上下水道局、かながわ海岸美化財団、当事業団が協力して清掃を行いました。砂浜がきれいになって清々しさを感じる行事でした。



トピックス 西地区納涼花火大会で
クリーンキャンペーン



8月25日(土)恒例の横須賀市西地区納涼花火大会が自衛隊武山駐屯地で盛大に開催されました。

駐屯地は午後4時30分に開場、市のクリーンキャンペーン「ごみの持ち帰り袋」の配布に合わせ当事業団のポケットティッシュも配布しました。花火がメインですが太鼓や盆踊り、多様な模擬店など多くの人たちが楽しめた行事でした。

イベント散歩

横須賀うみかぜカーニバル2018

今年の7月14日(土)～15日(日)横須賀市平成町にあるうみかぜ公園を会場に横須賀うみかぜカーニバル2018が開催されました。

14日(土)に会場へ行き、猛烈な暑さの中、開会の式典やメバル稚魚放流などを見て来ました。普段体験できないポートやカヌーの体験乗船会や海上保安部によるミニボートの安全対策の実演があり、海の楽しさと安全、ともに体験できる行事でした。



平成30年度の役員及び評議員

平成30年4月1日「一般財団法人横須賀西部水産振興事業団」は5年目をスタートしました。

平成29年度末で全役員任期満了となりましたが、2名の役員に変更があったのみで、その他の役員は継続して就任いたしました。変更があったのは評議員の秋本丈仁氏が退任し横須賀市経済部長の上之段功氏が就任、理事の原田幸生氏が退任し長井町協同組合理事の梶ヶ谷憲一氏が就任しました。また理事長については横須賀市大楠漁業組合代表理事組合長の福本憲治氏が留任いたしました。

役員(理事10名、監事2名)名簿

平成30年6月4日(敬称略)

No.	役職名	氏名
1	理事長	福本 憲治
2	副理事長	太田 議
3	専務理事	正木 道雄
4	理事	今井 利為
5	理事	梶ヶ谷 憲一
6	理事	成田 肇
7	理事	新倉 繁
8	理事	原 忠
9	理事	原 邦彦
10	理事	平野 敏幸
1	監事	金子 一美
2	監事	藤村 幸彦

(五十音順に記載)

評議員(10名)名簿

平成30年6月4日(敬称略)

No.	役職名	氏名
1	評議員	上之段 功
2	評議員	小杉 邦洋
3	評議員	清水 詢道
4	評議員	砂村 芳行
5	評議員	鈴木 秀雄
6	評議員	田中 達夫
7	評議員	栃木 稔宏
8	評議員	原田 洋治
9	評議員	長谷川 浩市
10	評議員	樋爪 由幸

(五十音順に記載)

平成29年度 決算の概要

平成30年6月4日に開催された平成30年度定時評議員会において、平成29年度の事業報告及び決算について承認されました。

平成29年度の経常収入(利息)は6,046,237円、支出は事業費及び管理費を合計して20,150,937円であり、当期経常増減額は14,104,700円の減となり、その減を基本財産の取崩及び繰越金支出により収支のバランスを取りました。この結果、正味財産期末残高は28年度末の残高より14,128,760円減少し499,439,630円となり、初めて5億円を切りました。決算の概要は次のとおりです。

決算の概要(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

(1) 経常収益

① 基本財産運用益	6,031,001円
② 雑収入	15,236円
経常収益計	6,046,237円

(2) 経常費用

① 環境保全事業	2,578,967円
海岸・海浜清掃用品、啓発用品	
海岸・漁港清掃助成金など	
② 調査研究及び保護培養事業	7,529,523円
小田和湾藻場分布調査費	
種苗購入費など	
③ 研修事業	896,938円
海と人と人をつなぐ講演会	
水環境講演会	
漁業、新しい取組みを学ぶ研修会	
④ 広報事業	939,883円
西部水産振興だよりNo.39、No.40製作費	
「甕れ、小田和湾藻場環境」印刷費	
⑤ 経営安定事業	6,000,000円
漁業協同組合に対する経営資金等の助成金	
⑥ 調査研究助成事業	500,000円
漁業協同組合が行う調査研究のための助成金	

事業費計	18,445,311円
⑦ 管理費	1,705,626円

役員の会議出席報酬
関係団体年会費等負担金
会計システムレンタル料など
※人件費は各事業に配分し支出している。

経常費用計	20,150,937円
当期経常増減額	△14,104,700円

2. 経常外増減の部

(1) 経常外収益	12,000,000円
(2) 経常外費用	0円
当期経常外増減額	12,000,000円
当期一般正味財産増減額	△2,104,700円
一般正味財産期首残高	28,445,698円
一般正味財産期末残高	26,340,998円

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減の部	△12,024,060円
指定正味財産期首残高	485,122,692円
指定正味財産期末残高	473,098,632円

III 正味財産期末残高

正味財産期末残高	499,439,630円
----------	--------------